

令和 8 年度 建管除工第 1 号
阿仁水無地区流雪溝用ポンプ更新工事 仕様書

北 秋 田 市

目 次

第 1 章	一般事項	1
第 2 章	運転操作方式	3
第 3 章	既設機械設備	4
第 4 章	機器数量	5
第 5 章	据付工事	6

第 1 章 一般事項

1. 概要

本工事は、**北秋田市阿仁水無地内**に設置する流雪溝ポンプに係るもので、その設計、試験及び据付は本仕様書及び別図に準拠して行うものとする。

流雪溝ポンプは着脱式水中ポンプ(φ250 75kw) 1台とする。

2. 適用規格

1) 本工事は、揚水機設備の老朽化に伴い、設備の更新を行うものである。製作及び工事に当たっては、次の各関連法規及び規格に準拠すること。

- (1) 秋田県土木工事共通仕様書
- (2) 機械設備工事共通仕様書(国土交通大臣官房丁営繕部)
- (3) 機械設備工事施行管理指針(国土交通大臣官房丁営繕部)
- (4) 電気設備工事共通仕様書(国土交通大臣官房丁営繕部)
- (5) 電気設備技術基準(通商産業省令)
- (6) 内線規定(電気技術基準調査委員会)
- (7) 日本工業規格(JIS規格)
- (8) 電気学会電気規格調査会標準規格(JEC規格)
- (9) (社)日本電機工業会標準規格(JEM規格)
- (10) 高圧受電設備規定(日本電気技術規格委員会)
- (11) その他関連法規、規格

3. 製作範囲

本工事での製作機器は、下記の通りとする。

- (1) 着脱式水中ポンプ(φ250 75kw)
- (2) 水中ポンプ用架台(SUS)
- (3) 吐出管(φ250 SGP・白 L=2600) (φ250SGP・白 90° L=393*393)
- (4) メカニカル継手(SUS)

4. 承諾図書

承諾用として次の図書を提出する。

- (1) 製作仕様書
- (2) 機器全体配置図
- (3) その他必要と認められる図書

5. 変更、訂正

承諾図書提出後、変更及び訂正ある場合は改めて承諾図を再提出し、承諾を受けるものとする。

6. 完成図書

製作完了後に次の図書を一括ファイルし、完成図書として下記を2部提出すること。

7. 工場検査

1) 本設備中の下記設備については製品の製作が完了後、監督員立会いのもとに立会い検査を行うものとする。

(1) 着脱式水中ポンプ(φ250 75kw)

(2) (φ250 SGP・白 L=2600) (φ250SGP・白 90° L=393*393)

9. 引き渡し

機器の製作及び据付完了後、監督職員の立会いのもとに各種試験及び試運転を行い、合格をもって引渡を完了するものとする。

10. 保証

機器の引き渡し完了後2年以内に生じた設計、製作、据付上の欠陥に起因する事故、或は初期の性能を発揮できない場合に対しては、請負者の責任において修理又は交換を行うものとする。

11. 付帯事項

各種提出図書及び本仕様書に明記なくとも、機器の運転、保守上必要と認められる設備については、全て完備するものとする。

12. 設置場所

秋田県北秋田市阿仁水無 地内

第 2 章 運転操作方式

1, 概要

本設備は、水無地区流雪溝設備においてスターデルタ始動方式の水中ポンプ1台を設置し、水中ポンプの操作は揚水機場内の押し釦スイッチによる手動運転とする。
水中ポンプのインターロックとして吸水槽の渇水で自動停止する。

手動操作（操作スイッチの操作による）

- 1 初期状態は手動仕切弁全閉
- 2 水中ポンプを運転(押し釦スイッチON)
- 3 手動仕切弁を開く
- 4 送水開始

停止操作

- 1 手動仕切弁を閉じる
- 2 水中ポンプを停止(押し釦スイッチOFF)

故障停止

故障や異常が発生した場合は水中ポンプが自動停止し、下記の表示灯が点灯する。

- 1 吸水槽水位異常低下
- 2 水中ポンプ過負荷

第 3 章 既設機械設備

1. 機械設備

(1) 揚水機

諸 元	規 格
型 式	着脱式水中ポンプ
揚水量	7.8 m ³ /m i n
全揚程	27.7 m
口 径	φ 250 mm
出 力	75 k w 50H _Z 同期回転数1500m i n ⁻¹
駆動方式	水中電動機直結
材 質	
ケーシング	FC200
インペラ	FC200
主軸	SUS420J2
軸封方式	メカニカルシール
軸 受	玉軸受
フランジ	吐出側 : JIS 10K
台 数	1 台

第 4 章 機器数量

(1) 主ポンプ

名 称	規 格 品 質	単 位	数 量	備 考
着脱式水中ポンプ	φ 250×75kw	台	1	
水中ポンプ用架台	φ 250同上用	台	1	

(2) 配管材

SGP

F : フランジ JIS 10K

名 称	規 格 品 質	単 位	数 量	備 考
2F付 直管	φ 250 L=2600	本	1	
2F付 曲管	φ 250 90° L=393×393	本	1	
ボルト及びナット	φ 250用(SUS304)	組	3	
パッキン	φ 250用	枚	3	
メカニカル継手	φ 250(SUS)	式	1	

(3) 塗装

配管はSGP(白)を使用し溶接部は亜鉛メッキ補修塗料を塗布するものとする。

第 5 章 据付工事

1. 機器据付配管工事

- (1) 据付工事は、予め承認を得た詳細な機械配置図及び据付基礎図に基づき、工事監督員の指示に従い、試運転完了迄の一切の工事を、作業員の安全には十分な予防処置をとり、事故を未然に防止することに努めて入念正確に施工し、将来の維持管理に支障を来さないよう施工するものとする。
- (2) 据付に当たっては予め監督員、関連企業と十分な工程打合せを行い、施工順序及び方法等を詳細に打合せ、これに基づき施工するものとする。
- (3) 据付に当たっては本工事の進捗状況を常に監視し、関連工事等全体工事の工程を勘案し、悪影響がないよう十分留意するものとする。
- (4) 据付に当たって、監督員の指示する重要部分については、その都度検査を受けるものとする。
- (5) 機器の据付調整及び試験、試運転調整に際しては技術者を派遣し、その指導に当たらせるものとする。

2. 据付工事施工範囲

下記は本工事の施工範囲とする。

- 1) 機器の現場据付工事
- 2) 配管の現場据付工事
- 3) 据付完了後の現場試運転助成工事

3. 据付工事施工範囲外

下記は除外工事とし、本工事の施工範囲外とする。

- 1) 基礎土木工事及び同手直し工事
- 2) 壁等の配管貫通部の穴あけ及び手直し工事
- 3) 仮設道路工事